

出来形（品質）集計表

（専任監督員）

考查項目	工種	評 定 (該当割合)				d <input type="checkbox"/> 60%未満	e <input type="checkbox"/>
			a <input type="checkbox"/> 90%以上	b <input type="checkbox"/> 80～90%未満	c <input type="checkbox"/> 60～80%未満、評価対象が2以下		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	①	対象項目 該当項目				<input type="checkbox"/>	
	②	対象項目 該当項目				<input type="checkbox"/>	
	③	対象項目 該当項目				<input type="checkbox"/>	
	該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 評価値（ % ） = （ ） 合計評価数 / （ ） 合計対象評価項目数 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 a 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする						

工種（品質）一覧表

所見(専任監督員)

1	<u>コンクリート構造物工事</u>	16	<u>建築工事(土木関連)</u>
2	<u>土工事(切土、盛土、築堤等工事)</u>	17	<u>標識・区画線・防護柵(網)設置工事</u>
3	<u>補強土壁工事</u>	18	<u>浚渫覆砂工事</u>
4	<u>取壊し工事</u>	19	<u>基礎工事(地盤改良等を含む)</u>
5	<u>二次製品構造物工事</u>	20	<u>仮設工事</u>
6	<u>鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)</u>	21	<u>下水道工事</u>
7	<u>塗装工事</u>	22	<u>電線共同溝工事</u>
8	<u>護岸・根固・水制工事</u>	23	<u>維持工事(清掃工、付属物工、除雪、応急処理等)</u>
9	<u>砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)</u>	24	<u>修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)</u>
10	<u>コンクリート橋工事(PC及びRCを対象)</u>	25	<u>機械設備工事</u>
11	<u>舗装工事(改良系)</u>	26	<u>電気設備・照明設備・変電設備・その他類似工事</u>
12	<u>舗装工事(修繕系)</u>	27	<u>通信設備工事・受変電設備工事</u>
13	<u>法面工事</u>	28	<u>林道土木工事</u>
14	<u>トンネル工事</u>	29	<u>その他工種の工事</u>
15	<u>植栽工事</u>		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種	a <input type="checkbox"/> 適切である	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	e <input checked="" type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート構造物工事	<p>「評価対象項目」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量単位数、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。（※適マークを取得している工場で製造されたコンクリートを用いる場合は対象外） 2 <input type="checkbox"/> コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 圧縮試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固方法が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） 5 <input type="checkbox"/> 型枠、支保材が十分な強度と安全性を持っており、締め付け確認や剥離材の塗布などが行われ、打設中の管理が適切である。 6 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格・品質が、証明書類で確認できる。 9 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設までにどろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないように管理していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 鉄筋の加工及び組み立て、かぶりが設計図書の仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。 11 <input type="checkbox"/> 溶接・圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足し、気候等に応じ適切に行われていることが確認できる。（日数、方法等） 13 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> セパレータ部の処理が適切に実施されている。 15 <input type="checkbox"/> クラックがない。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。 16 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____ 			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	
		<p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……a</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ） = （ ） 評価数 / （ ） 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種					
3. 出来形及び出来ばえ	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	a <input type="checkbox"/> 適切である	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、適切に丁張を設置し、また施工中にも適宜点検し精度の向上及び変状の発見に努めている。 2 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。(作業終了・中断時含む) 3 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 締め固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 一層当たりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が適正な土質で行っていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 品質管理に必要な各種試験を行い、適切な施工がされていることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。クラックや損傷部がない。 12 <input type="checkbox"/> 抜開除根作業が設計書に定められた条件を満足していることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> その他 理由：			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
		該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a			①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

(専任監督員)

審査項目	工種					
3. 出来形及び出来ばえ	補強土壁工事	a <input type="checkbox"/> 適切である	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 盛土材料の土質が適正である。 2 <input type="checkbox"/> 盛土の締め固めを適切な条件(人力・機械・巻き出し厚・敷き均し・転圧作業等)で施工されている。 3 <input type="checkbox"/> プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料等の品質証明資料により適切であると確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 5 <input type="checkbox"/> 盛土の締め固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> その他 理由：			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
		該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a			①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工 種					
3. 出来形及び出来ばえ	取壊し工事	a <input type="checkbox"/> 適切である	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 分別、再資源化を適切に実施している。 2 <input type="checkbox"/> 施工計画に定められた計画により管理されている。 3 <input type="checkbox"/> 廃棄物の処理が適切である。 4 <input type="checkbox"/> 請負者の管理記録が整備されている。 5 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真管理が適正である。 6 <input type="checkbox"/> その他 理由：			<input checked="" type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
		該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……a			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

(専任監督員)

考查項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	二次製品 構造物工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		<p>「評価対象項目」</p> <p>[共通]</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 仕様書に定められている品質管理が実施されている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> JIS規格外品について、仕様書で規定する規格、品質を満足している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 土留め、ウエルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 敷モルタルが適切に施工されている。</p> <p>[擁壁類（補強土擁壁は除く）]</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じてない。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 材料の接続または、かみ合わせが適切でズレがなく、接続部からの土砂流出防止がなされている。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 端部おける地山とのすりつけが適切である。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意をはらっている。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> コンクリート擁壁工の施工にあたり、コンクリートの配合、練り混ぜ、打ち込み、締め固め及び養生が適切に行われている。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>[用排水路]</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤に締固めが特に入念に行われている。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 呑口、吐口、集水柵等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 継目部の目地モルタル・パッキン等が適切に施工されている。</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	鋼橋工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質	(RC床版工事はコンクリート構造物工事に準ずる)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【工場製作関係】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 孔開けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケム後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 検査路、落橋防止装置、配水管等の付属物のめっき、防食、塗装が適切であることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： <input type="text"/></p> <p>【架設関係】</p> <p>13 <input type="checkbox"/> クレーン、ベントなどの設置位置における地盤支持力を確認している。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> ボルトのワットを適切に管理・保管しており、出荷時の品質が施工時まで保たれていることが確認できる。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチャッピングと、仕上げ面の水切勾配がついていることが確認できる。</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 沓座モルタルの材料・施工が適切である。(無収縮モルタルを使用、打設前に座面を湿润状態にし、また確実に充填されるよう注意している。)</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機械について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。(※架設計画書等による確認)</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケム及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。</p> <p>27 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： <input type="text"/></p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

(専任監督員)

考查項目	工種					
3. 出来形及び出来ばえ	塗装工事	a <input type="checkbox"/> 適切である	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 丸ノコを入念に実施していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油膜等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 10 <input type="checkbox"/> その他 理由：			d <input checked="" type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
		該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……a			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう適切に行っていることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び、水密性を確保していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質が証明書類で確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所の水及び滞水は、排除して施工していることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意を払っている。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p>			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ ％ ）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>	
		該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(専任監督員)

考査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地すべり防止工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質	(集水井戸工事を 含む)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共 通】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っておりコンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。（※◎マークを取得している工場で製造されたJIS A5308のコンクリートを用いる場合は対象外）</p> <p>2 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</p> <p>5 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われている。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 鉄筋または鋼材の規格が証明書類で確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。</p> <p>【砂防構造物工事に適用】</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> コンクリートを打ち込む基礎岩盤および水平打継目のコンクリートは、吸水させ湿潤状態にし、モルタルを塗りこむように敷設している。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> コンクリート打設方法が適切である。（打込み高さ・一層厚さ・締固め・1リフト高さ・打継ぎ目処理・養生 等）</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 工場製作部分について、原寸、工作、溶接に関する事項が適切に記録されている。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 鋼製部材の現場塗装において、時期・素地調整・塗装方法・塗膜状況が適切であることが確認できる。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 標板、銘板が適切にとりつけられている。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>【地すべり対策工事（抑止杭・集水井戸工事を含む）】</p> <p>21 <input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。</p> <p>22 <input type="checkbox"/> ライブプレートを組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮し、施工を行っている。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> ライブプレートと地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 集・排水ボ-リング工の方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 抑止杭工について、排出土および掘削時間等から、地質の状況が記録され、基岩又は固定地盤面の深度が確認できる。</p> <p>26 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・ d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・ c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・ b 該当項目が 90 ～ 100 …………… a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質	(PC及びRCを対象)	<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（※◎マークを取得している工場で製造されたJIS A5308のコンクリートを用いる場合は対象外）</p> <p>2 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレータの機種、養生方法等が適切に行われている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格・品質が証明書類で確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 溶接・圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> スパースの材質が適正で、品質が確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> スパースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> プレフォーム桁のプレflexion管理が適切に行われている。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 装置（機器）のキャリブレーションが実施されている。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 緊張及びグット管理が適切に実施されている。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> プレキャストブロックの損傷対策が適切である。（※取卸し時において、ブロック接合面等を十分保護している。）</p> <p>18 <input type="checkbox"/> プレキャストブロックの接続施工が適切である。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> クラックが無い。クラックがある場合であっても、進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づく適切な処置を行っている。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 沓座モルタルの材料・施工が適切である。（無収縮モルタルを使用、打設前に座面を湿潤状態にし、また確実に充填されるよう注意している。）</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ） = （ ） 評価数 / （ ） 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(専任監督員)

考査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質 (修繕系)		<p>「評価対象項目」</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 施工に伴い、CBR試験、平板載荷試験及び安定処理の配合試験等を実施し、適切な舗装設計の基礎資料収集を行っている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 路床安定処理において、添加材の材質・数量及び混合深さが確認でき、混合むらが無く均一であることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 使用材料が分離しておらず、仕上げ面が均一である。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 路床、路盤工のブルフローリングを行い、ローマークがないことが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工において、現場密度や含水比等の管理を行い、適切な品質であることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 路上再生路盤工において、施工時の添加材料の噴出量等が設計どおりであることが資料で確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。(アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く。)</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 舗設後、交通開放を適切に行っている。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が標準仕様書に定められた数値以上ずらしている。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 目地の処理が標準仕様書に定められた通りであることが確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われている。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> プライムコート、タックコートが均一に施工され散布量が確認できる写真、資料がある。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> プライムコート、タックコートが、既設舗装断面及び隣接構造物側面に塗布されていることが確認できる。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 初期・二次・仕上げ転圧が適切に行われている。</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 基準密度等の管理がされており品質の確認ができる。</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 縦、横断段差処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 仮区画線の施工が施工計画書のとおり適切に施工されたことが確認できる。</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 路面切削において施工計画と施工結果が整合しており、資料で確認できる。</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 切削後の路面管理が舗設まで適切に管理された。</p> <p>26 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p> <p>【共 通】</p> <p>27 <input type="checkbox"/> 工法の適否や、変更・追加等の有無を確認するために、施工前・中などにおいて現地調査を十分に行っている。</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 区画線、標識、防護柵等交通安全施設の施工管理資料が整備されており、品質の確認ができる。</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<p><input checked="" type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 設計図書に示されている法勾配で適切に施工されている。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 施工面の浮石除去・除根等が適切におこなわれている。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 吹付け材料が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 吹付け技能工（ブルマン・ガンマン）の技量が適切であることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 法面の変状を常に監視し、施工している。</p> <p>【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映している。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 柵等の重ね幅が10cm以上確保されている。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 法面端部付近にランディングを行い、法肩・端部に巻き込みを施工している。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 基材の配合が適切であることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 吹付完了後、保護養生が行われている。（養生材吹付、散水養生等）</p> <p>14 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>【コンクリート、又はモルタル吹付工関係】</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が10cm以上確保されている。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 3張鉄筋が、仕様書のとおり施工されていることが確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面の場合に、事前に吸水させていることが確認できる。</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 法面端部付近にランディングを行い、法肩・端部に巻き込みを施工している。</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 水枝管を湧水部や凹部に配慮して設置している。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>【打抜き工関係（現場打・プレキャスト・現場吹付等）】</p> <p>24 <input type="checkbox"/> アンカーが適切に施工されていることが確認できる。（長さ、定着等）</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 配筋状況が適切である。</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 打継ぎ目の施工が適切である。（打継ぎ目は水洗いやセメントペーストにより付着性の向上を図っている。）</p> <p>27 <input type="checkbox"/> 現場養生が適切に行われている。</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>29 <input type="checkbox"/> アンカーと枠の連結や、枠のかみ合わせが適切である。</p> <p>30 <input type="checkbox"/> 枠と法面間の処理が適切で、密着していることが確認できる。</p> <p>31 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことや、中詰め材が沈下・流出していないことが確認できる。</p> <p>32 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。</p> <p>33 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。</p> <p>34 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	トンネル工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（※<input type="checkbox"/>マークを取得している工場で製造されたJIS A5308のコンクリートを用いる場合は対象外）</p> <p>2 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> コンクリート打設について、施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法等を行っている。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 鉄筋又は鋼材の規格が証明書類で確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋、鉄網の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm（一目）以上重ね合わせていることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートは浮石等を除いた後に、15cm以下の厚さで地山と密着するよう施工されている。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの打継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別・規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> ロックボルトの地山との定着方法が適切である。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> インハート工において、掘削状況、打設方法が適切である。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 覆工コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上にないことが確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上にないことが確認できる。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 常に切羽及び地表面の状況を確認して施工していることが確認できる。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 裏込め注入の施工時期・方法が適切で、状況がデータで確認できる。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：<input type="text"/></p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ） = （ ） 評価数 / （ ） 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	植栽工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。 2 <input type="checkbox"/> 施肥・かん水等、活着管理が適切におこなわれている。 3 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 4 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 5 <input type="checkbox"/> 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 6 <input type="checkbox"/> 植栽する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り、植穴底部を耕していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。 8 <input type="checkbox"/> 樹木、地被類、つる性物等には樹幹の割れ、病害虫などが無いことが確認できると共に、仕様書に基づいた植え付けが適切になされている。 9 <input type="checkbox"/> 埋戻土が設計図書の基づいた性状であり、小石・ごみ・雑草・夾雑物を含まない適切なものであることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 支柱・添え木をぐらつかないように設置していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____ _____ 該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

(専任監督員)

審査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	建築工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質	(土木関連)	「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。 2 <input type="checkbox"/> 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。 3 <input type="checkbox"/> 機器等(設備等)の機能が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。 4 <input type="checkbox"/> 躯体の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、建造物の品質が確保されている。 5 <input type="checkbox"/> 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され良質な施工が伺える。 6 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____ _____ 該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(専任監督員)

考査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	標識・区画線・防護柵(網)設置工事	<p><input type="checkbox"/> 適切である</p> <p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置要綱、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面への影響が無いよう施工していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>	<p><input type="checkbox"/> ほぼ適切である</p>	<p><input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p>
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>	

(専任監督員)

考査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	浚渫覆砂工事	<p><input type="checkbox"/> 適切である</p> <p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 着手前の測定の記録・保存が適正である。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 施工前、施工中の水象・気象の資料が整備されている。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 土砂量の検収・計測が的確に行われている。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 機械の選定及び組み合わせが適切である。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 周辺環境に配慮し、水質汚濁防止・水質監視等が行われている。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 浚渫高さ(覆砂厚)、すりつけが規格値内に納まる仕上がりである。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 覆砂の品質資料が適切に整理されている。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>	<p><input type="checkbox"/> ほぼ適切である</p>	<p><input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p>
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質	(地盤改良等を含む)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【杭関係 (コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 杭等の規格・品質を確認できる資料が整理されている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 杭の運搬・保管状態が適切で、損傷および補修跡がないことが確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 配筋、スパーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> ライフプレートの組立にあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 溶接工の技量が確認でき、溶接作業環境が適切である。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、組立・加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、レミ管をコンクリート内に2m以上挿入し施工していることが確認できる。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> スリムの除去を確実にしていることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 杭先端処理が適切に行われていることを示す資料が確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメント比の比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 既成杭の打止め管理の方法及び場所打ち杭の施工管理方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>【地盤改良関係 (サンド・砕石ドレーン、ペーパードレーン、サンドコンパクション、ロッドコンパクション等含む)】</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 改良材の品質・使用量が管理され、設計図書の使用を満足していることが確認できる。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 改良材の配合、比重、噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験等を実施し、改良材の選定、必要量の設定等を行っていることが確認できる。</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されるとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 施工管理方法が施工計画書等に記載され、整備されている。</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 施工記録が整理され、適切な施工が確認できる。</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 改良体の形状寸法が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 控工の施工上の注意事項 (仕様書による) が守られている。</p> <p>27 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種					
3. 出来形及び出来ばえ	仮設工事	a <input type="checkbox"/> 適切である	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質確認資料が整理されている。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 運搬・保管状態が適切で、使用材料のそり・ゆがみ・傷等がない。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 溶接工の技量が確認でき、溶接作業環境が適切である。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 継杭・継矢板における溶接の品質管理に関して、組立・加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 腹起しの設置状況が適切である。(施工にあたり、受け金物、吊りワイヤ等によって支持し、また矢板と十分密着させて)</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 控え板・タイロッドの取り付け状況が適切である。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 周辺環境(騒音・振動・地盤変動等)に配慮した施工方法で実施している。</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由: _____</p> <p>該当項目が 0 ~ 60 %未満..... d</p> <p>該当項目が 60 ~ 80 %未満..... c</p> <p>該当項目が 80 ~ 90 %未満..... b</p> <p>該当項目が 90 ~ 100 a</p>			d <input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p>1 <input type="checkbox"/> マネル用品の規格・品質がシートで確認できる。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 管渠の規格・品質がシートで確認できる。</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（※マークを取得している工場で製造されたJIS A5308のコンクリートを用いる場合は対象外）</p> <p>4 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレタの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 施工基盤面が良好であることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 管渠の接合状態が良好であることが確認できる。</p> <p>【開削工】</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 埋め戻し材料の品質が確認できる。</p> <p>11 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p> <p>【推進工】</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 推進作業等がデータで確認できる。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 裏込めの注入状況が確認できる。</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</p> <p>18 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p> <p>【シールド工】</p> <p>19 <input type="checkbox"/> セグメントの規格・品質がシートで確認できる。</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 二次コンクリート打設前にあたり、作業員の技量確認を行っている。</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 常に切羽及び地表面の状態を確認して施工されていることが確認できる。</p> <p>23 <input type="checkbox"/> シールド推進作業等がデータで確認できる。</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 裏込め注入状況がデータで確認できる。</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</p> <p>26 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>						

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> フラット出荷時、現場到着時、舗設持等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> その他 理由：			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
		該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……a			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

(専任監督員)

審査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	維持工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質	(清掃工、付属物工、除雪、応急処理等)	「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜的確に行っていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 理由： 6 <input type="checkbox"/> 理由： 7 <input type="checkbox"/> 理由： 8 <input type="checkbox"/> 理由：			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
		該当項目が 0 ～ 3 項目未満・・・c 該当項目が 3 ～ 5 項目未満・・・b 該当項目が 5 項目以上・・・a			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	
		※ 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。				

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

(専任監督員)

考查項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜的確に行っていることが確認できる。 2 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕費等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 5 <input type="checkbox"/> 理由： 6 <input type="checkbox"/> 理由： 7 <input type="checkbox"/> 理由： 8 <input type="checkbox"/> 理由：			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	
		該当項目が 0 ~ 3 項目未満・・・c 該当項目が 3 ~ 5 項目未満・・・b 該当項目が 5 項目以上・・・a				
		※ 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(専任監督員)

審査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		<p>「評価対象項目」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 2 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計・承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 3 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 4 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 5 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 6 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 7 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 9 <input type="checkbox"/> 電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 12 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練を実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 13 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 14 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 15 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示または防護をしていることが確認できる。 16 <input type="checkbox"/> 構造物劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 17 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 18 <input type="checkbox"/> 設備・機器及び付属物のすり付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 19 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書を工夫し作成（改造・更新・修繕の場合は修正）していることが確認できる。（※編集手法について評価する。） 20 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。 21 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備している。 22 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書において、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。 23 <input type="checkbox"/> その他 <p>理由： _____</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	
					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>	

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

(専任監督員)

考查項目	工 種	a <input type="checkbox"/> 適切である	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備工事 (照明設備・変電設備・その他類似工事含む)	<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保にかかる技術検討が実施していることが確認できる。監督員が修補指示を行い検査員が修補指示を行った。</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが改善さ</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 設備・機器及び付属物のすり付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が設計図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。</p> <p>8 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認でき</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作業が確認で</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認で</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書を工夫し作成（改造・更新・修繕の場合は修正）していることが確認できる。（※編集手法について評価する。）</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が用意に判別できる。</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別でき、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。</p> <p>16 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由： <input type="text"/></p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ） = （ ） 評価数 / （ ） 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(専任監督員)

考査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	通信設備工事・受変電設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。監督員が修補指示を行い検査員が修補指示を行った。 2 <input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 3 <input type="checkbox"/> 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥が無く満足している。 4 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認でき 5 <input type="checkbox"/> 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 7 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 8 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 9 <input type="checkbox"/> 設備・機器及び付属物のすり付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 10 <input type="checkbox"/> 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 11 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書を工夫し作成（改造・更新・修繕の場合は修正）していることが確認できる。（※編集手法について評価する。） 12 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が用意に判別できる。 13 <input type="checkbox"/> 完成図書・取扱説明書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別でき、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。 14 <input type="checkbox"/> その他 理由：			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
		該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

(専任監督員)

考査項目	工 種	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>	e <input type="checkbox"/>
3. 出来形及び出来ばえ	林道土木工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		「評価対象項目」 1 <input type="checkbox"/> 伐開、伐根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。 2 <input type="checkbox"/> 掘削面の土砂は、乱さないように丁寧に漉き取り、適切な場所に運搬している。 3 <input type="checkbox"/> 基礎地盤が急勾配の斜面では、法面の崩壊や不等沈下の防止のため段切等適切に施工している。 4 <input type="checkbox"/> 盛土中の暗渠・管等の構造物のある場合は偏圧の架からないように施工している。 5 <input type="checkbox"/> 路床、排水路等は設計図書により施工・管理されており、その出来形についても適切に確認できる。 6 <input type="checkbox"/> 着手前に、崩壊、湧水等を調査確認し、適切な排水対策が実施されている。 7 <input type="checkbox"/> 掘削等により、立木等に損傷を与えず、また飛散の防止等にも注意を払って施工されている。 8 <input type="checkbox"/> 道路の横断勾配、幅員・基準高、土質等について設計基準等に基づき適切に施工管理されており仕上がりも基準を満足している。 9 <input type="checkbox"/> 仮設道路、排水構造物について設計図書により施工・管理され、出来形も適切に管理されている。			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。	
		該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・b 該当項目が 90 ～ 100 ……………a			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(専任監督員)

考査項目	工 種					
3. 出来形及び出来ばえ	その他工種の工事	a <input type="checkbox"/> 適切である	b <input type="checkbox"/> ほぼ適切である	c <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	d <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、文書にて改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質		<p>「評価対象項目」</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 理由</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 理由</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 理由</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 理由</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 理由</p> <p>該当項目が 0 ～ 60 %未満・・・ d 該当項目が 60 ～ 80 %未満・・・ c 該当項目が 80 ～ 90 %未満・・・ b 該当項目が 90 ～ 100 …………… a</p> <p>※ 各工種の該当考査項目で考査し、最大考査項目は5項目とする。</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝（ ）評価数 /（ ）対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>